

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2008-46168(P2008-46168A)

【公開日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-008

【出願番号】特願2006-219009(P2006-219009)

【国際特許分類】

G 03 G 15/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/00 5 3 4

G 03 G 15/00 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月10日(2009.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートに転写されたトナー像を加熱及び加圧してシートに定着させる定着部の下流側に設けられ、シートを搬送しながらシートのカールを矯正するカール矯正部を備えた画像形成装置において、

前記カール矯正部は、シートを搬送しながらシートのカールを矯正するローラ対を備え、

前記ローラ対は、弾性部材により形成されるローラ部を有する第1のローラと、前記第1のローラのローラ部よりも硬度が高く、中空形状に形成された第2のローラとから構成されていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記第1のローラを形成する弾性部材は発泡体によりなるものであることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記第2のローラは金属製であることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記定着部よりも下流側に配置され、シートを排出する排紙部を備え、

前記カール矯正部を、前記定着部と前記排紙部との間に設けたことを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記カール矯正部によりシートを機外の排出トレイ上に排出することを特徴とする請求項1ないし4のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記カール矯正部は、前記定着部の上方に配置されていることを特徴とする請求項1ないし5のいずれか1項に記載の画像形成装置。